

園だより

第 8 号

2019年10月30日



ばんけい幼稚園

エル先生との関わりから

砂田 雪絵

遊びや生活の中で英語に触れ、興味・関心を広げ、異文化に対して親しみを持つことにねらいを持って1学期から取り組んでいる活動、“エル先生と遊ぼう”。エル先生は主に水曜日に来園し、好きな遊びの中で全園児に関わり、緑組青組のクラスと一緒におやつを食べ、その後青組の子どもたちと触れ合う時間を過ごしています。

前日の帰りの集まりで、「明日はエル先生がいらっしゃいます」のお知らせに「やった〜!」と必ず歓声が上がり、次の日は期待を持って登園して来る子どもたちの姿が多く見られます。好きな遊びの時間では…「Good morning!」「Hello!」等挨拶を交わしたり、捕まえた虫をエル先生に見せると英語で教えてもらったり…と様々な関わりが見られています。ある日、セミを捕まえた子がエル先生に見せると「cicada」と教えてくださいました。教えてもらった子は、一瞬ポカン?としましたが、「えー! それ英語?かっこいい!」と目を輝かせ次々と捕まえた虫を見せに行き行って教えてもらっている姿が印象的でした。また、別の日には、「さあ、おやつだよ!」と声をかけたところ、緑組の子どもたちがお腹をさすりながら「hungry! hungry!」と言ったことにびっくりしました。ままごと遊びの中で子ども役になったエル先生が”hungry “と言ったのを「なんて言ってるの?」と聞いた子どもに「お腹が空いたって言ったのよ」と教えてくださったのでした。すぐに状況に合わせて使ってみようとする姿に感心した場面でした。

青組の子どもたちはおやつの後、別室でエル先生に英語で絵本を読んでもらったり、手遊びを一緒にしたり、歌を歌ったりして過ごしています。子どもは小さい時から日本語の絵本を読んでもらって日本語の文章にたくさん触れていきます。そうすることで自然に日本語が身につきます。それと同じように英語の絵本を読み聞かせすることで自然に英語がわかるようになるそうです。エル先生も子育ての中での経験から絵本の読み聞かせを大切にしているそうです。初めて英語に触れた子、英語に触れる経験のある子様々ですが、エル先生は手作りのカードやペープサート、人形を用いて楽しめるようにお話したり、歌ったりしています。子どもたちも一緒に言葉を言ってみたり、歌ってみたりその子なりの関わりで楽しんでいます。水曜日の帰りの時間は「See You!」「Good bye!」と子どもたちの声が響いています。